

崎陽軒工場見学と小机城址

日時:2015年6月4日(木) 天候:晴れ 20000歩 約12km

集合:JR 横浜線小机駅 9時20分

コース:小机駅→横浜国際競技場→崎陽軒横浜工場見学→小机城址市民の森→鶴見川沿い→綱島駅(解散)

参加者:仲(L) 勅使河原 平嶋 戸田 鈴木徳 熊坂 大平 青松 菊池 熊島 中村年 平野 小林俊 山内 瀬戸 宮野 丹後 平林勝 桑原 山本 小田 小島重 計22名

前日の雨も上がり、朝から青空が広がり吹く風も爽やかな天気となりました。崎陽軒といえば子供の頃、父親が横浜駅で買ってきたシューマイに付いている醤油入れ(今でいう“ひょうちゃん”)を集めて喜んでいたものですが、まさかその崎陽軒の製造過程を見学できるとは・・・年月を感じますね～。工場内のラインにはロボットが並んでいて、人間の作業はごく一部の近代的な環境で作られていました。試食用のシューマイは出来たてのせいか、さすがに店で買うのとは一味違っていました。昼食場所の小机城址では、先ほど食べたシューマイの匂い(?)が残っているせいか、蚊の猛攻にあった人もいましたが、空堀沿いに歩く竹林の道は綺麗に整備され、所々には季節の花も咲く地元の憩いの森になっていました。

<フォトレポート 小島>



<崎陽軒工場内の記念写真スポット！シューマイを大量に持った方がいますが・・・欲張りすぎですよ～>

※崎陽軒=創業は明治4年。横浜駅構内で営業を始め、昭和3年に冷めてもおいしい「シューマイ」を開発し販売を開始した。

社名の由来は、創業に拘わった4代目横浜駅長の久保久行の出身地が長崎県であったことから、長崎の別名の「崎陽」をとって「崎陽軒」とした。(同社パンフレットより)



横浜線小机駅。見慣れた方が到着です！



駅舎の天井には、今や少なくなったツバメの巣が。



涼しさを感じる橋上デッキで暫し談笑。



“ワケあり”で少々遅れた仲しよりコース説明。



横浜国際競技場に向かいウォークスタート。



新横浜公園にて戸田さんのストレッチで身体をほぐします。



土手から“道なき道”を下ります。大丈夫？



小机大橋を渡ると崎陽軒。上は建設中の横浜環状北線。



崎陽軒横浜工場に到着しました。



係りの方から見学前の注意事項が。(聞いてない?)



“ひょうちゃん”で～す！



シュウマイの原材料を前に。



帆立は実物が展示されていました。



覗いているラインは撮影禁止でした。



“立て板に水”の説明、さすがです。



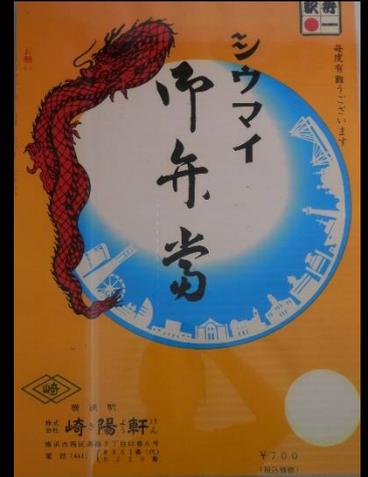
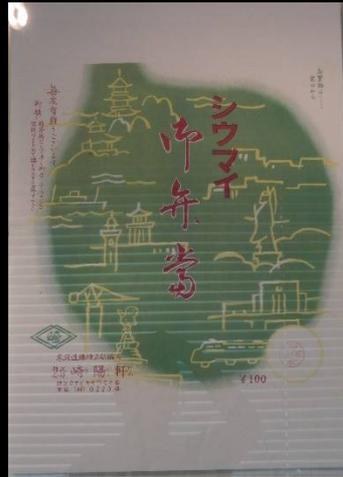
男性の売り子スタイル。



怪しげな乗客が3人いますが...



女性の方から買いたい？



シューマイ弁当の表装紙の変遷。(古い→新しい。100円から700円まで) 絵柄の風景も変わってきていますね。



各種デザインの醤油入れが勢ぞろい。



シューマイだけではない商品展開。



シューマイ娘(?)から買えて嬉しそうな“お客さん”！



満腹？いや3個の試食では足りませんでした！



崎陽軒を出ると日差しが強くなってきました。



昼食場所の小机城址市民の森に到着しー安心。



城址内に入ると涼しい竹林があり助かります。



古城址といえばこの空堀。今にも兵たちが出て来そうな・・・



食前酒ならぬ食前試食で逆に食欲が湧いた？ 広い郭跡でのランチタイム。



この花は何？ 髭のような赤い花・・・



食後は深い空堀の底を歩きます。



＜小机城址虎口(正面入り口)の復元冠木門前で。蚊に刺されないよう急いでシャッターを押しました！＞



城址を一周しもと来た道に出ました。



紫陽花に見送られて城址を後にします。



小机駅に戻ってきました。



仕事がある山内さん、ここで別れ。



烏山川に沿って歩きます。



暑さが厳しいので木陰で水分補給の小休止。



ここを右に曲がると新横浜駅です。



道路沿いの太尾公園内を歩きます。



新羽橋を渡り新田緑道で小休止。



ここでリーダーもエネルギー補給！



緑道内を行くKWCの“精鋭”？



鶴見川の土手に出ました。



遙か先には東横線が・・・



ここから河原に下りていきます。



ここで熊坂さんのクールダウン。変な動きの人も...



網島駅で解散。皆さん暑い中お疲れ様でした。



アフターは15名で網島駅前の「さくら水産」にて。今日は暑かったのでビールが身体にしみ込みました。

※工場見学といえばビール工場が浮かびますが、崎陽軒というシューマイではお馴染みの会社の近代的な生産ラインを見学することが出来ました。創業者の思いが詰まったこのシューマイ、これを機にたまには買ってみることにしますか。今回は人数限定でキャンセル待ちも出ましたが、この手の企画は皆さん早めに申し込みを入れましょう！